

【最適化検討の進め方と最適化を検討する施設の候補について】

- モデル地域において、築年数を基準とし、利用状況等を総合的に勘案したうえで、**検討の起点となる軸施設（以下「軸施設」）を選定**します。また、複数の施設を含む広域的な視点で施設の適正配置を検討していくことから、軸施設の検討対象となる他施設を選定し、**軸施設を中心としたグループ（以下「軸施設グループ」）を仮設定**します。
軸施設グループについては、**施設の持っている機能や利用状況、利用者範囲などを分析**した上で最終的に設定しますが、今後の利用者範囲の調査などを踏まえて行うため、検討の初期段階では、近くにある施設を中心に検討を進めます。
- 最適化を検討する施設の候補について、来年度はワークショップによる市民ニーズの把握・利用状況調査・利用者団体ヒアリング等を行いながら、**地域特性、施設特性、機能重複等、災害リスクの4つの分析手法**を用いて、行政内部でも検討を進めていく予定です。

<御意見をいただきたい内容>

- 軸施設の検討の相手方となる他施設については、今後、施設の持っている機能や利用状況、利用者範囲などを分析しながら抽出を行っていきませんが、以上の項目以外に、**抽出の材料となるような指標や選定方法、軸グループの設定の仕方**について、御意見をいただきたく存じます。
- 内部検討については、以下の4つの分析手法を用いて検討を行います。
 - ・ワークショップ意見を踏まえた将来の機能検討などの**地域特性に関する分析**
 - ・利用状況、立地を踏まえた必要性などの**施設特性に関する分析**
 - ・グループでの機能重複がある場合、機能維持の必要性などの**機能重複等に関する分析**
 - ・浸水想定区域、土砂災害危険箇所、防災拠点の配置状況などの**災害リスクに関する分析****以上の分析を進めるにあたり、分析の進め方で参考となる方法や留意すべき点、他の分析項目などがございましたら、御意見をいただきたく存じます。**